

2019年度 東北福祉大学 解答速報(2月2日実施分)
A日程(給付型奨学金) 国語

解 答

一

問一 a ⑦ b ③ c ④ d ①

問二 ③・④

問三 ありえない設定の使用が、かえって普遍性を生むから。(25字)

問四 現実を読み替えるための手段

問五 醜さが、娘を愛せない親の苦悩や自分を愛せない思春期の苦悩という普遍性を生む効果。
(40字)

問六 ①短編(短篇) ②膨 ③疎 ④架空 ⑤葛藤

二

問一 ア ③ イ ④ ウ ① エ ② オ ⑤

問二 a ② b ④ c ① d ③

問三 ④

問四 「今」を、「それぞれの時点」ではなく、「現実の今」の意味で理解した。(34字)

問五 ・過去の記事に書いてある「今」の意味が理解できない。(25字)

・未来の自分が理解するのを意図して「今」と書けない。(25字)

問六 ① 原稿 ② 都度 ③ 協奏 ④ 十全 ⑤ 簡単

講 評

【総評】

現代文の評論問題二問。いずれも内容・設問ともにやや難化。ただし記述の字数は昨年とは異なり、無理なくおさめられるものが多かった。

【設問ごと】

- 一 宇佐美毅「人間はなぜフィクションを必要とするのか」よりの出題。テレビドラマ「イグアナの娘」をとりあげ、フィクションとは何なのか、フィクションにはどのような効果があるのか、なぜフィクションが人間にとって必要なのかについて述べる。空欄問題は四字熟語の知識問題だった。問三の記述は、八段落目最後の「だから～」の直前を見れば答えが出る。問五の記述は問二の答えを踏まえれば、容易にまとめられるだろう。

- 二 永井均「新版 哲学の密かな闘い」よりの出題。「今」の二種類の意味について、学生の誤解を出発点として、考察をしている。問四の記述は三段落目の内容から導き出すことができる。問五は五段落目の「同じことを時点をずらして…」の前後をまとめればよい。

【対策】

語彙力、文脈把握力、主題把握力、記述力がバランスよく問われており、総合的な国語力がしっかり求められる。特に語彙的な分野のハードルは高い傾向がある。空欄補充はほとんどが至近の文脈で出るのが、選択肢の語句を、意味も含めて知っておかないと正確に埋められない、しかも空欄が本文の論旨に関わる部分に集中していることが多いので、ここができないと主題も把握できず、記述も正答できない、ということになる。

したがって、まず対策としては早めに「言葉」の力をつける（辞書を活用する習慣を身に付ける）こと。また、記述量が多めであり、設問ごとの指定字数も厳しめなので、日頃から論旨説明の問題にチャレンジし、答案作成力をつけることが大事である。